

<ふくおか県民文化祭について>

【調査目的】

福岡県では、県民の皆さんに、文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供するため、平成5年から毎年10月から12月にかけて「ふくおか県民文化祭」を開催しており、演劇公演や趣向を凝らした演奏会・合唱会、絵画展など、多彩なイベントを県内各地で実施しています。

この県民文化祭は今年で30回目を迎えますが、まだ県民全体の認知度は低く、参加者も固定化してきている等の課題があります。

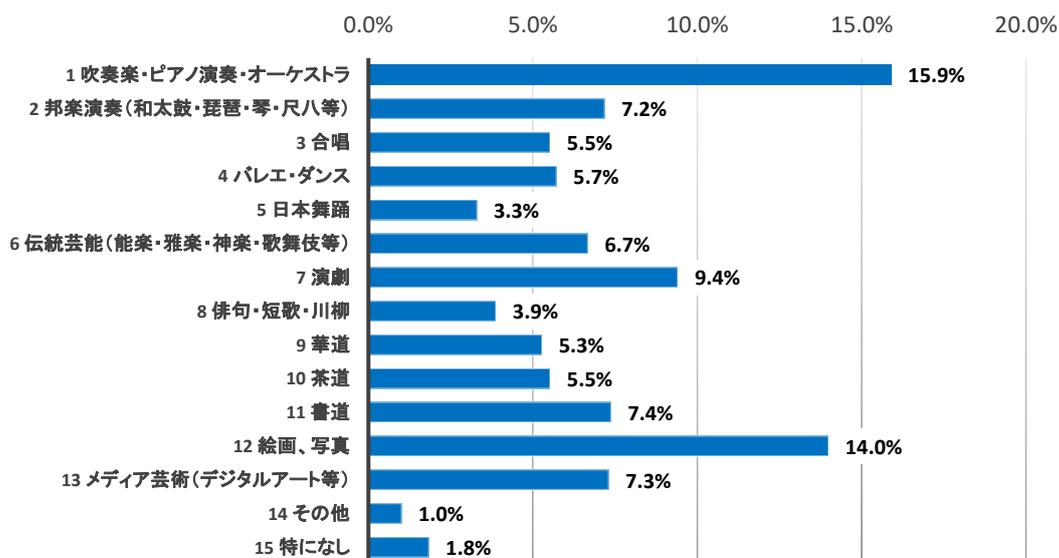
このため、皆さんのご意見をお聴かせいただき、幅広い世代の方に参加いただける県民文化祭を目指すための参考とさせていただきたいと思っております。

(人づくり・県民生活部 文化振興課)

<1> 関心がある文化芸術分野を教えてください。

(回答者数379人、回答件数1,572件、複数選択可)

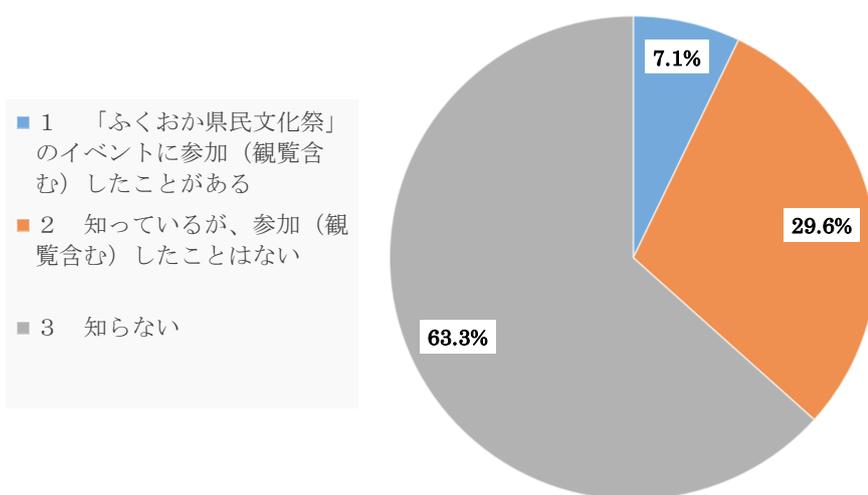
1 吹奏楽・ピアノ演奏・オーケストラ	15.9%	250人
2 邦楽演奏(和太鼓・琵琶・琴・尺八等)	7.2%	113人
3 合唱	5.5%	87人
4 バレエ・ダンス	5.7%	90人
5 日本舞踊	3.3%	52人
6 伝統芸能(能楽・雅楽・神楽・歌舞伎等)	6.7%	105人
7 演劇	9.4%	148人
8 俳句・短歌・川柳	3.9%	61人
9 華道	5.3%	83人
10 茶道	5.5%	87人
11 書道	7.4%	116人
12 絵画、写真	14.0%	220人
13 メディア芸術(デジタルアート等)	7.3%	115人
14 その他	1.0%	16人
15 特になし	1.8%	29人



< 2 > 「ふくおか県民文化祭」を知っていますか。

(回答者数379人、選択は1つのみ)

1 「ふくおか県民文化祭」のイベントに参加(観覧含む)したことがある	7.1%	27人
2 知っているが、参加(観覧含む)したことはない	29.6%	112人
3 知らない	63.3%	240人

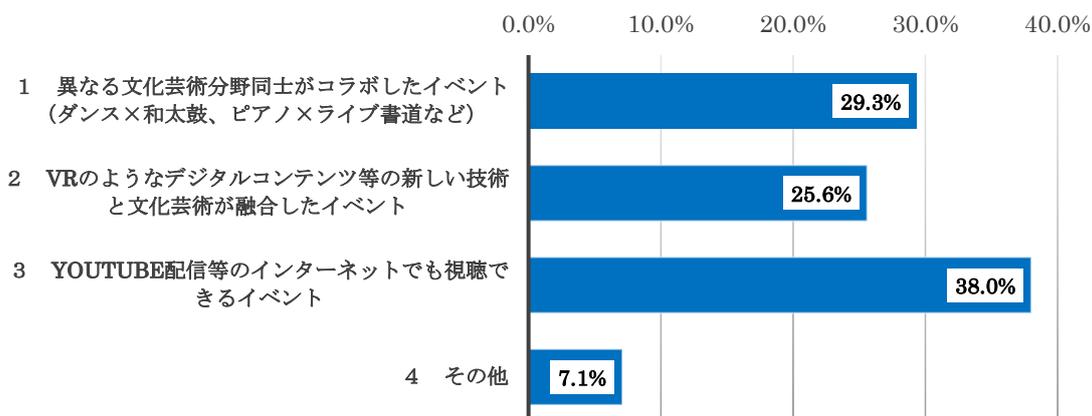


＜3＞ どんな文化芸術イベントであれば「ふくおか県民文化祭」に参加（観覧含む）してみたいと思いますか。

（回答は＜2＞で「知っているが、参加（観覧含む）したことはない」又は「知らない」と答えた方）

（回答者数352人、回答件数508件、複数選択可）

1 異なる文化芸術分野同士がコラボしたイベント(ダンス×和太鼓、ピアノ×ライブ書道など)	29.3%	149人
2 VRのようなデジタルコンテンツ等の新しい技術と文化芸術が融合したイベント	25.6%	130人
3 Youtube配信等のインターネットでも視聴できるイベント	38.0%	193人
4 その他	7.1%	36人



＜4＞ 参加（観覧含む）したいと思う文化芸術イベントの内容を具体的に入力してください。（抜粋）

（回答者数 36 件）

- ・ デジタル物の展示も含んでも良いと思います。ただ、デジタル物は製作にお金がかかるので、補助金は出さないまでも、何か高校生でもよいので、デジタルアートで出品するとか。年齢別に制限しても良いかもしれません。
- ・ お笑いのお芝居や、好きな芸能人の芝居やコンサート。
- ・ 親子で参加できる内容のもの。
- ・ 我が家から文化祭の会場までは、車で30分くらい掛かります。そのため、見るだけではなく自分たちも参加できる（生け花、書道、絵）などのコーナーがあると思います。
- ・ 告知がないので、参加しようがない。ふくおか県民文化祭の予算の何割かを宣伝広告に使用すべきではないでしょうか。
- ・ 身近な人たちが参加していれば、見に行きたいと思います。
- ・ 地元楽団のオーケストラ、地元出身者のトークショーなど。

- ・ 福岡の文化ではないのですが、小学生の子どもが興味を持てるような、身の回りの科学の不思議を体験したり、学べるものがあつたら連れていきたいなと思います。親子で参加できて、福岡の文化を学びながら、福岡の不思議を発見できるものがあつたら楽しいなと思います。
- ・ 自分や家族、一般の人が気楽に参加できるようなイベントなら参加してみたい。
（例）焼き物の絵付け、博多ごま、おはじきづくりなど、小学生でも興味をもてるもの
- ・ 学生との書道、マーチング等の大規模なコラボイベント。
- ・ 異なる文化のコラボやデジタル等でなくても伝統的なものでもいいと思いますが、子どもがいて休日に出かけるとすれば子どもが楽しめる場所が第一条件なので、子どもが楽しめる企画や子ども参加型のイベントであれば参加したいと思います。
- ・ 芸術の楽しみ方を紹介してくれる講演会や展示ガイド
- ・ 文化芸術分野の方のトークショー
- ・ たまたま参加する機会がなかっただけなので、内容は現状のものでいい。
- ・ ピアノ演奏・和太鼓に関心はあるが参加・観覧をしたいと思うほどの気持ちはない。
- ・ 地元を拠点とした活動するアイドルによるミニステージ。
- ・ 福岡出身の有名イラストレーターの展覧会
- ・ 出来上がった文化を知らしめていくだけでなく、文化継承のため育成事業についても対象とできないか。
- ・ 子どものアート体験が出来るイベント等。
- ・ コラボなどもいいですが、純粹にその文化単体のものが見たいです。ただ見せるだけではなく参加型、ワークショップ形式の方がより興味を持てますし、裾野が広がると思います。
- ・ 様々は文化を披露するだけでなく、参加できる広報を広めていただきたい。
- ・ ドラムやギター演奏など体験できるもの。ただ観覧するだけでなく、お茶会で茶道の作法をまなんだり、ティラピスや高齢者でも楽しめる新しいスポーツなども体験型にして実施してほしい。
- ・ 自宅の近所で開催されるイベントなら参加、鑑賞したい。

< 5 > ふくおか県民文化祭についてこれまでの設問以外に意見がありますか。ある場合はその内容を具体的に入力してください。（抜粋）

（回答者数 183 件）

【広報・PRについてのご意見】

- ・ 県民に広く周知させるために既存のメディア（テレビ・ラジオ・紙媒体）を活用することはもちろん、Web 動画配信サービスや SNS 等を使った情報発信を行うと良いと考

える。

- ・産まれてずっと福岡県に住んでいますが全く知りませんでした。CMで案内したり、地方テレビで案内を頻繁にした方がいいと思います。子どもたちも見て楽しめるような内容なら、親子連れで行きたいと思えるし、一度どのようなものか参加してみたいです。
- ・ふくおか県民文化祭が開催されていること自体を知らない。もっと広く周知することが重要だと考えます。同時に文化を広める意味からは、出来るだけ安い費用で参加できるようにしてほしい。魅力的な文化祭であっても遠方だと出掛けにくいので、県の各地で参加できるようにして貰えると有難い。
- ・北九州出身で小倉を中心に様々な文化的イベントが行われているが、そのあたりは含まれないのか。同時に盛り上げた方が福岡県全体の文化を発信する力は大きくなると思う。HPに関して文字を大きくしたり、デザインをモダンにした方が情報源として活用されるのではないか。
- ・ホームページを見ましたが、トップページに次の直近の日時で催される出し物をまず表示して教えてほしいです。検索しないと表示されないなど不便です。すぐ次の出し物が見れるようにしてほしいです。
- ・福岡県に30年超居住していますが、「ふくおか県民文化祭」について初めて聞きました。私自身の情報収集能力不足、県側の発信力不足、どちらも考えられますが、おそらく認知度不足、発信力不足に起因するものと考えられます。一過性の情報発信ではなく、継続した情報発信に努めて欲しいと思います。県内の各市町村との連携も取れていないのではないかと思います。
- ・福岡県民文化祭の事を知らなかったのが勉強不足もありますが広く県民に周知してほしい。他県から越してきてまだまだ行事や祭り等わからず風習も全く違いますし知人すら居なく知る術も少ないです。
- ・まず知らない人がほとんどだと思います。若者はテレビを見ない、新聞を読まないのので、インターネットでの案内をもっと進めていく事が重要だと思います。
- ・この存在を知らなかった。テレビCMやローカル番組、ポスターの増設等で周知してほしいと思う。
- ・福岡県に63年間住み、暮らしてきましたが、ふくおか県民文化祭のことを全く知りませんでした。設問やホームページを見ると、良いイベントだと感じました。マスコミやインターネットを活用して、もっと県民にその存在を伝えてほしいと感じました。
- ・調べないとわからないではなく、自然と目に入るSMSなど、活用して広めた方が若い人は、興味を持つと思う。
- ・文化祭があること自体、把握していませんでした。小さな子どもも楽しめるような企画があると、参加してみたい・参加させてみたいと感じます。もっと周知するために、学校や保育園などに親や子どもが知ることが出来るチラシなどを配ると参加しやすいと思います。
- ・市町村主催の案内は良くみていますが、県主催に関しては記憶にありません。たぶん

市町村の案内に入っていると思いますが、県が主催しているという強調をした方がよいのではないかと思料いたします。SNS やインターネットの活用も積極的にお願いしたい。

- ・ 私を含め認知度が低いことが課題かと考えます。日本の、または地域の伝統文化を継承、発展させていくためにも、非常に重要な取り組みであると思われるので、広報を含め、戦略的に認知度を高める取り組みが望まれるところです。
- ・ 福岡県民文化祭について今まで知りませんでした。ですが、こどもが小学生になったら積極的に参加したいと考えています。「文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供する」という目的はすばらしいと思います。認知度が低いのは非常にもったいないと思いますので下記を提案させていただきます。小学生を持つ家庭向けであれば、小学校でチラシを配布することで保護者へ周知でき、「こどもにとって文化芸術に触れることはすばらしいこと」と感じてもらえれば参加するのではないかと。
- ・ 実際にどこでどのようなことをしているのかというのが、県民に認知されていない様に思いますので、各自治体やメディアなどの媒体を使ってアピールを促せば良いのでは？と思います。また、若者の認知度を高めるために、TikTok や YouTube などといったものを使うというのも良いのかもしれません。福岡県民文化祭、ということですので、福岡県のそれぞれの地域の魅力などを体験出来るような取り組みがあれば面白いのではと思います。
- ・ 福岡に住んで 11 年目になりますが、ふくおか県民文化祭を知りませんでした。すでにやっているのかもしれませんが、ショッピングモールなど、文化に興味がない人が多い場所でのアピールなどを検討してもよいのかもしれません。
- ・ 私はこのようなイベントがあることを知らなかった。市町村の広報誌や HP に掲載し認知度を高めるのも良いのではないかと。福岡の芸能人が全国版 TV で PR したり YouTube 広告で出す、SNS 等を通じて認知度を高めるのも良いと感じた。
- ・ 初めて聞きました。私は普段テレビを見ないため知らなかったのかな？と思いましたが、普段テレビを見る方でも録画をして CM を見ていない方もいると思うので、SNS や保育園、学校などでお知らせ等あれば気付けるのではないかな？と思います。より若い世代に訴求するような分野も積極的に取り入れてもらいたい。
- ・ 恥ずかしいことですが、県展については女房が絵を出品していたので美術館で鑑賞していましたが、正直ふくおか県民文化祭のことはよく知りませんでした。もっと県民の方に事業を行うときには何らかの方法で PR すべきではないかと思えます。新聞やテレビなどで目につくようにしたらよいと思います。
- ・ 県民の周知度が低いという事なので私はポスターを貼って欲しい。福岡の催しなどは、通勤する駅のポスターから情報を得ることがしばしばあるので、是非、駅にポスターを貼って欲しいです。あとは、最近お友達登録した LINE でのお知らせなども良いと思う。私のように、興味はあるけれど知らないという人が多いのかなという印象です。
- ・ ふくおか県民文化祭というものを初めて知りました。市の広報誌はしっかり読むタイプなのですが、その言葉を知りませんでした。どのように広報されてるのか気になり

ました。プロ・アマチュア問わず文化芸術に触れる、発表する場と認識しました。幼児や小学生も参加できるというと思います。SNS 以外にも、公民館や児童施設やスーパーなどで広報ちらしがあれば目に付きやすいです。まずは周知してもらうことが大事だと思います。

- ・ 存在を何となくは知っていてもなかなかきっかけがなくて参加していない県民も多いと思うので、SNS を活用してキャンペーン当選者には来場すると特産品がもらえるなど、ちょっとしたきっかけを提供していただくと良いと思います。
- ・ もっと積極的な広報を望みます。新聞テレビはもちろんのこと、ネット、ツイッター、facebook、yahoo の広告欄、駅構内の広告など。知らない人が多すぎます。
- ・ 今回、ふくおか県民文化祭のことを、私は子どもの小学校からのテーマ募集で知りました。それまで、このようなふくおか県民文化祭があっていることを知りませんでした。もっともっと、県民のみなさんに知ってもらいたいし、どんどん参加してほしい、そして、福岡県を元気ある場所にしていきたいと願っています。よって、もっと、この、ふくおか県民文化祭を宣伝するべく、CM や、ポスターなど、宣伝活動にもっと重点を置き、より多くの県民の方々に知ってもらうような工夫があるというと思います。
- ・ 名前を聞いたことがある程度でどこで行われているのかなど分かりません。市で行われている文化祭ほど身近に感じないように思います。もっと告知があればいいのかなと思います。文化祭を通して子ども達が素晴らしい音楽や伝統芸能などに親しむ機会になればいいなと感じます。
- ・ 若い子向けには Instagram を使って告知をするのが 1 番の広告になると思います。
- ・ 福岡市には「wa+club (わたすクラブ)」という福岡市文化芸術振興財団が運営する会員制度があり、福岡市美術館等で、文化やアートを格安で楽しめます。県民文化祭も、期間を決めて行うのもアリですが、年間パスポートを発行し、身近にアートを体験できる場所の提示をしてみるといいかなと思います。
- ・ 文化祭ですので、学校と名のついている施設にパンフレットやポスターを配布し、学生さんに楽しく県民が参加出来る文化祭の案を募ると、多くの人を知るきっかけになると考えます。
- ・ 広告を各大学にも打ち出すのも良いのではないかと思います。(ポスターを大学の掲示板に掲載) また、大学生にその活動のボランティア・アルバイトを募集してみるのも認知度上げる 1 つの方法だと思いました。
- ・ ふくおか県民文化祭の内容も大切だというのは共感できますが、駅構内など公共の場でのポスター掲示など広報活動にも力を入れるとより多くの人に知ってもらい、参加を促すことができるのではないかと考えます。
- ・ マスコットキャラクターの飛梅丸は知っていた。飛梅丸の着ぐるみと福岡タレントを案内人として、テレビで紹介する形をとると目に入りやすいと感じた。(特番ではなく、ふるさと wish のように定期的に流れるものがよい)
- ・ ホームページに開催日程が欲しいです。私は、福岡県に移り 3 年目ですが、全く知り

ませんでした。広報は、どのようにされているのでしょうか。例えば、見やすい場所にポスターを貼る、職場にも貼る、団体を通じて、末端まで知らせるなどです。具体的なプログラムも必要かもしれません。ボーイスカウトのジャンボリーの通知は、とてもわかり易いです。

- ・ まだまだ浸透していないイベントだと思うので、小学校や中学校、町内会などでも告知してくれると、このようなイベントや文化を知る機会が増えると思います。

【イベント内容についてのご意見】

- ・ ただ市民が書いた文筆を発表するだけでなく、例えば市民の書いた小説の原稿を展示したり、その原稿をもとに簡易な演劇を実施するとか、文章のみならず、もっと立体的な多方面での複合的で広がりがある想像力を駆使した展示・企画をやってはいかがでしょうか？
- ・ どうしたら認知度をあげられるか。わからないけど、異なる分野の融合的なのは、私は好きじゃない。
- ・ 既に行われているかもしれませんが、鑑賞だけではなく作品の即売会(手頃なお値段のものありがたいです)もあつたらいいなと思います。本来の意義が失われかねないかなとも思うのですが、それでもまずは呼び水のものがあつた方が足も向きます。子ども連れは特に、子どもが関心をもってくれないと親も動けないので。
- ・ 正直、個人的にも伝統文化と言われるととっつきにくくて行く気になれないのですが、その伝統文化を最新デジタルアートで表現したものなら楽しそうだし観てみたいなと思います。
- ・ 私は県外出身なので、イベントに関心があっても、目的地までの交通手段がわからないと出かけるのが億劫になる。開催場所や内容だけではなく、食事や交通手段を含めて、どんな時間を過ごせるかがイメージできるとありがたい。
- ・ よしもと新喜劇を呼んだり、劇団四季のミュージカルや有名歌手のコンサートなど、開催されたら嬉しいです。
- ・ 各世代の方々が参加したいと思う内容にすべきだと考える。そのためには、内容に工夫が必要であり、例えば、演奏の題目に関しては、幅広い年齢層に好まれるものを選ぶべきであろう。
- ・ 市町村との共同開催等が出来れば認知度も上がるのではないかと。企画面では中洲ジャズ等参考になると思います。現代主流の文化(映画、漫画、アニメ、ゲーム、ポップミュージック)なども積極的に入れていくべき。
- ・ クラシック音楽について。近年愛好者の高齢化が課題と聞いています。しばしばコンサートに足を運びますが、聴衆の年齢は自分よりも年上が多いように感じ、若い人が少ないのにも驚きます。若年人口の減少、娯楽の多様化など仕方がない側面も多いとは思いますが、こどもたちに楽器(管弦打楽器)に触れる機会をつくってみてはと考えます。

- ・ Twitter やインスタグラム、LINE など SNS をうまく活用して情報共有や、動画、画像の配信などがあると若い世代も関心を持ちやすいと思います。
- ・ 名前は聞いたことはありますが、どのようなことを行われているのかよく知りませんでした。私は福岡市の教員でしたが、児童を連れて市が行っているスポーツの会には参加しましたが、文化祭には参加してことがありません。ただ、公民館が 11 月ごろ行っている文化祭に何度も参加してことがあります。たぶん公民館文化祭に出演されている方にも、県民文化祭の案内はされていると思いますが、していないのならそこからだと思います。また、地域で行われている文化祭は、様々な分野にわたって表現活動が行われているので、校区の公民館から一分野について県民文化祭に出演してもらうなどしてはどうでしょうか。児童が行っているダンスや比較的年齢が高い方がされているフラダンスなどいいものがたくさんあると思います。
- ・ 少子化対策も兼ねて、男女の出会いの場を提供できるような場もあっていいのかなと思います。
- ・ もっと子どもも気軽に参加できるものであればよいなあと思います。学校やクラス単位で関わったり、鑑賞できたりしたら楽しいし、良い経験になりますよね。
- ・ 大変お恥ずかしながらふくおか県民文化祭を全く知りませんでした。私は高校生の頃文芸部に所属していたので俳句や川柳を見る、作る機会があれば参加したい。
- ・ 介護、医療現場で面会制限が続いているので、入院中や入所中で閉鎖された空間にいる感覚を持っている方も少なくはないと思う。オンラインで演奏や合唱、踊りなどに参加できる機会があると高齢者の方々にもよい刺激になると思う。
- ・ 福岡独自の伝統芸能や伝統技術を大切にしていきたいと考えます。そういった「未来へ引き継いでいくもの」と現代の比較的新しい芸能、技術とが融合したエンターテインメントを見てみたいです。
- ・ 小さな子供がいると参加してみたいと思っても周りに気を使いなかなか参加が難しいのでオンラインでも参加できるような取り組みがあればいいなと思いました。
- ・ とても良い試みだと思います。小さいうちから触れることも大切だと思うので、未就学児等小さい子も楽しめるイベントが増えたらいいなと思います。
- ・ ふくおか県民文化祭中、駅や公共施設のロビーにピアノや太鼓等？を置いて自由に弾いてもらってセッションできたりとか、同じくその場で 1 枚書道体験できるとか、その場でデッサンやスケッチ体験できるとかがあると楽しいかもです。5 分 10 分で楽しめて、持ち帰ってもいいし、その場にしばらく掲示してもいいし、写真を撮って期間中 WEB 上に掲載なら皆さん気軽に参加できるし、周知も広がるかもしれません。
- ・ 観劇や美術館博物館などコロナ禍前は行っていました。観戦がやはり怖くて引きこもり状態。そんな中、福岡美術館主催の Zoom 鑑賞があり参加できました。デジタル機器に疎く心配でしたが何とか。しかも 5 人限定の複数回開催だったのでなおゆっくりじっくりそして学芸員さん含め参加者で感想意見を話す時間もあって貴重な体験でした。
- ・ 催しは嫌いではないのですが、あまり自分自身に関係のない事柄なのでわざわざ外に

出てまで観覧しにいかうとは正直思わないです。しかし、今からの時代に向けて Web 3.0 やメタバース等を使えば、福岡好きだし、自宅で楽しめるので観覧してみたいと思います。

- ・ 今まで、是非観たいという、魅力的な催しはなかったです。美術館、博物館を入場無料にするのはどうでしょうか。
- ・ 演者側の年齢層は多様でしょうか。例えば、学生であれば同級生がイベントに出ていれば見に行く気持ちになるかもしれません。
- ・ 福岡県は、観光地としての魅力に欠けますが、たとえば長崎県がやっていた、スタンプラリーと謎解きが一体化した観光スポット巡りなど、県民以外にもアプローチしても良いかと思います。
- ・ 会場などにその日行けない人がいるので、YouTube なら作業しつつ閲覧出来ると思います。もしくはインスタライブなど
- ・ 興味のある文化芸術分野は Youtube で無料で見ている。イベントでは有料で、なおかつ完成されたものだけしか見ることが出来ないけれど、Youtube であれば、制作過程・作成方法など、ちょっとした工作レベルのものから作品レベルのものまで見ることが出来る。いつもと違った空間に行くことは、とても良い刺激がある一方で、参加観覧を出来る時間的・経済的・体力的余裕がない。作成する側の視点であれば、発表するというゴール設定があった方が張合いもあり、収入に結びつけるための道筋の1つとしてあっていいと思う。
- ・ 福岡の以前からある文化財（民謡、雅楽、音楽など）を知らしめる文化祭になってほしい。古いものに触れるとアイデンティティが蘇える気がするのはふるさとに育ったことの証であることを気づかされる。
- ・ 受験生の子どもがいるので、地元の高校 etc. 学校の部活やサークルが参加してくださると良いなと思います。それが地域の活性化に繋がり、ゆくゆくは自身の子どもたちもそのお手伝いができたら嬉しいです。

【その他のご意見】

- ・ 毎年開催場所を各市町村（または福岡、北九州、筑後、筑豊といった地域）で持ち回りとする事で地域の方が参加しやすくなり文化祭をより身近に感じるのではないかなと思う。また、県内でも行った事のない地域に足を運ぶきっかけになると思う。
- ・ ふくおか県民文化祭だから参加しようと思ったことが無かった。何かお得になるのでしょうか？地域や企業が実施されているイベントの棲み分けがあるのでしょうか？
- ・ コロナのせいもあってか、企画の内容が伝わってこない。知らなかったのもっといろいろな方法で目に留まるようにしてもらいたい。
- ・ 一部の美術関係者と美術愛好者が参加し、その枠だけで多少盛り上がっている印象です。私は美術の作家業を時々兼ねていますが、同業者からふくおか県民文化祭のこと（参加している・楽しんでいる・または批判など）も 15 年間（自分が活動を始めて

から)全く聞いたことがなく、普通の市井の人々からも今まで聞いたことがありません。まず広く認知されていないと思うし、県民全体が享受しているというイメージも全くありません。具体的な PR がなさすぎるのか、一体どういう人が何を得て楽しんでいるんだろう、誰にとっての文化祭なのだろう、年を重ねるごとにどういうふうにならなかってレベルアップしているんだろう、少しでも翌年(未来)につながっているのかな、というもやもやとした疑問ばかりが残ります。それと、何となくですが、主に福岡市内でやっているようなイメージがあって、住んでいる北九州市では県民文化祭からはかなり離れている印象があります。音楽や演劇関連についても同様です。

- ・ そもそも県民(行政)レベルでの文化祭の意義定義がよくわからないのが正直なところ。以前宮崎に在住していた時にクラシックコンサートがあり、あまり文化イベントのない地域だったので一度行ったことがある。福岡はさまざまなイベント、施設(国立博物館、美術館)があり正直必要性を感じられない、民間でやっているなら、行政が関与する必要性は薄いのではないかと。長年やっていて認知度が低いという事実は不要なのか、やり方が悪いのか。もう少し対象を絞って一度その代わり大々的にやってみたら県民にアピールできるのではないかと。思う。
- ・ 姉が音楽で県民文化祭に出場したことがある。当時、社会人だった姉はずっと趣味として音楽を続けていた。細々と続けている日頃の成果を大勢の他人の前で発表できる事に喜びと誇りをもっていたことを記憶している。このように県民の誰でも輝ける場所があると言うことはとてもいいことだと思う。周知がイマイチでも、県民のたった一部だったとしても、文化を愛する人々はその大事さを知っている。そこから文化は継がれていくし、さざなみだとしても確実に波及するのものと信じている。
- ・ それぞれのイベントについて、民間でできるものも多いと感じた。行政の関わりは、民間で日々開催されてるイベントの情報共有と広報、会場、展示場所の提供(会場利用料の負担軽減)くらいでいいのではないかと。小規模のものや、マイナーな演目には最低限の補助も必要。予算をつけた以上やらなければならないという観念にとらわれるのではなく、民間でできることは民間で。
- ・ 地方に出張イベントがあるといい「県民に文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供すること」を目的とするならば、愚直にそのことを実行すべきと考えます。(私案 a) 県民の対象は一部の地域、年代に偏るのは趣旨に合わない。とても困難な目的だと思います。地域と対象年代を軸に何年かかけて網羅する取組が必要だと思います。(私案 b) 福岡県自ら「祭り」を開催するのではなく、未就学時、小中高大学生、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上などの県民の要望することの入場券を配布する当の活動をする。映画、コンサート、スポーツ、展覧会などなど。
- ・ 文化芸術に親しめるような余裕のある生活をしていないので、県民文化祭の必要性すら感じません。私のように忙しい人間こそ文化芸術に触れる必要があるのですが、現実として日々の生活でその余裕はありません。
- ・ 人間らしい生活には、文化芸術が大切なことは、十分理解するが、限られた税収のなかで、優先順位が高いとは思わない。

- ・ 来場者が固定化しているとのことなので、最も来場者が多かった時と今の来場者の世代比較。例えば、第1回目の来場者の大半が50-60代で、第30回目の来場者の大半が80-90代であれば同じ世代が来ていることになる。つまりその世代にしかウケないイベントということだろうと思う。
- ・ 元来集客力のない芸術分野（例えば邦楽演奏、伝統芸能など）については、従来よりその分野に興味を持っている人だけしか集まらず、拡がりは全く期待できない。そのような分野への集客を進めるためには、スタンプレースのような制度によって参加者には他の集客力のあるイベントへの優先参加や何らかのアドバンテージを与えるのも検討しては良いのではないかと思う。